

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 70 野鳥観察館

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
市民を対象に、野鳥観察及び野鳥保護に関する知識並びに自然保護に関する意識の高揚を図ることを目的に設置された施設です。 藤前干潟の水鳥を観察するために、望遠鏡30台を設置し、野鳥の観察、野鳥の保護に関する相談・指導、資料の展示、書籍の販売を行っています。	指定管理施設	6,828	0	6,828	0	335	6,493	6,828	—				
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	利用者数	人	31,391	31,280	31,853	32,731							
	来園者満足度アンケートで良かったと回答した割合(ホームページと来園者による)	%	85	87	88	85							
利用者1人当たりの運営費	円	198	199	195	209	平成22年度より第2期に切り替わり、指定管理料が増加したため、利用者一人当たりの運営費は上昇しました。 平成21年度まで 6,226,500円 平成22年度から 6,828,000円							
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標						
					めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)					
	利用の促進	隣接する国の環境学習施設との役割の違いについての広報については、パンフレットやホームページ等で工夫していきます。 市内にある他の環境学習施設との連携については、情報交換を図り、講座等の開催について検討します。また、小学校等の総合学習の場として、今まで以上に利用していただくため情報提供を強化します。			毎年3万人以上の安定した利用者数	利用者数	33,000人	31,391人					
改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)		特記事項										
	利用者数 32,731人		干潟に集まる野鳥の観察に主眼を置き、飛来する珍しい野鳥の情報提供に努めた。 市が実施していたイベントを指定管理業務に移し、愛鳥週間・探鳥週間行事について隣接するビジターセンターと連携し、COP10を盛り上げた。										

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 71 都市公園(1,372か所→1,387か所)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円)(平成22年度決算額)							
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入			
	管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	職員数					
<p>都市公園法に基づき、公共の福祉の増進に資することを目的とし、同施行令により市民1人あたりの公園面積10㎡以上を目標に整備・設置されています。</p> <p>現地での管理体制を確保することで一定の水準を確保し、市民サービスの向上が図られる一定規模以上の大規模公園や、庭園等の特殊な公園を除いたその他の都市公園は市民との密接な関わりがあり、また施策を反映した公園づくりなど行政の直接管理運営が必要です。</p>	直営施設	3,678,266	0	3,678,266	96,310	0	3,581,956	3,678,266	89	特記事項			
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
1㎡あたりの1年間の維持管理経費	円	385.62	388.28	395.79	328.93								
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項				
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)							
	事業内容の改善	公園愛護会や緑のパートナー等の制度の周知に努め、活発な市民活動団体の紹介や愛護会交流会の実施等により、公園内での市民活動の活性化を行い、市民との協働による公園の維持管理を拡充していきます。	目標年次までに、市民活動団体数を約3%増加させることで、公園の活用を促進し、公園を市民にとって、より愛着や親しみのある空間とします。	市民活動団体数	1,120団体	1,087団体				1,094団体			

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 72 都市公園内スポーツ施設(87か所→88か所)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円)(平成22年度決算額)							
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入			職員数
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	
都市市民の運動の利用に供するために設置いたしました。 野球場(52公園69面)、テニスコート(31公園82面)、陸上競技場(3公園3面)、球技場(1公園1面)、アーチェリー場(1公園2コース)の管理運営を行っています。  スポーツ施設は都市公園の一部の施設であり、公園と一体的に管理するため、直営で管理しています。	直営施設	176,993	0	176,993	116,952	0	60,041	176,993	5	特記事項			
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	利用率	%	52.8	53.7	55.3	53.7							
	抽選倍率	倍	27.1	28.3	28.2	29.1							
利用1コマあたりの運営費	円	2,401	2,356	2,088	1,742								
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項				
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)							
	利用の促進	より多くの方に土日を効率的に利用していただくため、一定回数以上の直前キャンセル者に対し、申込み制限をかける制度を導入します。 平日等利用の少ないときに利用していただけるよう利用促進策を検討します。	目標年次までに、全体利用率3.4%の増加 平成20年度 申込制限制度導入により全体利用率2%増加 平成22年度 平日利用促進により全体利用率1.4%増加	利用率	53.20%	49.80%				53.70%			

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 73 都市公園内分区園(3か所)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円)(平成22年度決算額)							
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入			
	昭57年より開始された建設省(現国土交通省)の新規施策、公開空地制度の一つとして設置いたしました。家族ぐるみで気軽に野菜作りなどを楽しんでいただくことを目的としています。大当郎緑地99区画、長廻間緑地79区画、明見緑地84区画の管理運営を行っています。						管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計
						2,641	0	2,641	1,572	0	1,069	2,641	0.03
	特記事項												
	分区園と一般公園を一体管理にした都市公園として親しまれていることから、市が直営で管理しています。												

管理運営指標の状況	取組状況						特記事項
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	利用率	%	100	100	100	100	
	抽選倍率	%	3.9	3.7	4.1	4.1	
	1区画あたりの運営費	円	10,652	19,718	16,065	10,079	
区画数	区画	263	262	262	262		

改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)
	機能の縮小	民間貸し農園施設の普及に努め、近隣における民間施設の普及状況をみながら、見直しを検討します。	民間施設の普及状況をみて、順次見直し	時期未定	民間施設の普及促進及び状況確認	平成22年度
	機能の統合	現在、担当土木事務所で行っている抽選にかかる事務について、市民農園の抽選との事務統合により経費の削減を図ります。	市民農園との抽選事務の統合	平成20年度	達成	

改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項
	実績(平成22年度)	
	平成20年度に達成	

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 74 中村公園記念館・桐蔭茶席

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入				職員数
	管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	職員数						
記念館は明治43年に愛知県の迎賓館として建築されました。その後、名古屋市に移管され、一般集会施設として市民に利用されている施設です。しかし、建物の耐震診断を実施したところ、大地震の発生時には倒壊する可能性が高いとの診断結果を得たので、平成21年7月からの利用を停止しております。桐蔭茶席は寄附により建てられ、その後、市民の利用に供することを目的に運営しています。	601	0	601	97	0	504	601	0.01						
中村公園内にあり、公園の一部施設として一体管理を行っているため、市直営で管理を行っています。	特記事項													
管理運営指標の状況	取組状況					特記事項								
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度							
利用率(桐蔭茶席)	%	11.1	10.4	11.3	15.7									
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標									
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)								
	利用の促進(桐蔭茶席)	ウェブサイトや地域情報誌、広報なごや等の活用により、積極的な広報に努めます。	平成20年度に1.3%、平成22年度に2%の利用率の増加	利用率	15.0%	11.7%								
	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標									
めざす状態			目標年度	到達段階	到達年度									
役割の再整理(記念館)	地元の意見を聞きながら、その意向等も充分確認した上で、今後のあり方を検討します。	今後のあり方の決定	平成22年度までに	達成										
改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)		特記事項											
	15.7%													
改革改善の取組状況	実績(平成22年度)		特記事項											
	歴史文化的にみた施設のあり方、地元管理を含めた管理運営等を、地元・関係機関と検討会を開催し、議論しています。													

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 75 鶴舞公園(普選記念壇・奏楽堂・鶴々亭)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)							
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	支出			収入				
	普選記念壇	普通選挙法を記念して名古屋新聞社(現中日新聞社)が建造し、本市に寄附			4年	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	奏楽堂	演奏会を行うため明治43年に設置。昭和9年に老朽化等により取り壊されたが、平成9年に復元				230,133	0	230,133	110,224	0	119,909	230,133	—
	鶴々亭	昭和3年に開催された「名古屋博覧会」に名古屋材木商工会が出品し、本市に寄附				<b>特記事項</b> 指定管理区域を、緑化センターも含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。							
管理運営指標の状況	取組状況					特記事項							
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度						
	1件あたりの運営費 (支出額/利用件数)	円	56,000	42,528	32,809	695,265	指定管理区域を、緑化センターも含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。 平成21年度 6,693千円 平成22年度 230,133千円						
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標			第3次行財政改革計画期間内の取組目標		実績(平成22年度)	特記事項				
			めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度							
	役割の再整理	普選記念壇 無料化を含め、運営改善を進めます。  奏楽堂 有料施設として維持し、また鶴舞公園のシンボルとして、そのイメージにふさわしいイベントを実施していきます。  鶴々亭 茶室としての人気があるので、PRを強化し有料施設として利用促進に努めます。 保存状態の調査を行い、利用促進のためのPRを含めた検討会を開催します。	普選記念壇 無料化を含めた運営改善  奏楽堂 鶴舞公園のシンボルにふさわしいイベントの実施  鶴々亭 PRの強化による利用促進	平成22年度	達成		普選記念壇については、無料化を検討  奏楽堂と鶴々亭については、指定管理者の導入により実施						

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 76 白鳥庭園

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入					
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金							
施設の現状	文化の薫り高いまちづくりの一環として整備された池泉廻遊式庭園であり、市内はもとより国内外の来場者も多い施設です。庭園本館の清羽亭は茶会、香、歌会など伝統的室内芸能に有料で利用できます。						指定管理料	94,880	0	94,880	21,448	1,412	72,020	94,880	—
	特記事項														
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項								
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度									
	利用者1人あたりの運営費	円	1,319	1,378	1,133	797									
	利用可能日数あたり運営費	円	407,407	434,314	400,676	320,540									
入園者数	人	92,000	93,000	104,000	119,000										
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標			第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項					
			めざす状態		指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)								
	利用の促進	国際会議場とさらに連携を深め、国際会議場での大規模な会議やイベントの情報収集に努め、利用者の促進を図ります。	目標年次までに、入園者数100,000人	入園者数	100,000人	92,000人	119,000人								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 77 日光川公園(サンビーチ日光川)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	支出			収入					
					4年	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金	
	平成6年6月25日にオープンし、今年で16年目となります。ウエーブプール、ビーチプール、キッドプール、90m級のウォータースライダー(3本)の施設があり、夏期には国内最大級のプール公園として市民に親しまれております。					指定管理施設	217,108	11,254	228,362	124,051	421	103,890	228,362	—
	特記事項													

管理運営指標の状況	取組状況						特記事項
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	利用者1人あたりの運営費 (総支出額/年間利用者数)	円	2,039	2,253	2,301	1,798	
利用可能日数あたりの運営費 (総支出額/年間利用日数)	千円	3,861	3,843	3,603	3,513		

改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)
		利用の促進	天候に左右される面もありますが、イベント内容やホームページの充実を図り、入場者数の維持・拡充を目指します。	目標年次までに、入場者数130,000人	入場者数	130,000人
	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
	廃止	プールの設備機器等の耐用年数、更新費用等について調査を行い、平成20年度に維持管理計画を策定し、10~15年後に想定される大規模修繕の必要時期に廃止します。	廃止	目標年度	到達段階	到達年度
				大規模修繕時(10~15年後)	計画策定	平成20年度

改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項
	127,000人	
	実績(平成22年度)	
	平成20年度に策定した維持管理計画に基づき修繕工事を実施	

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 78 ランの館

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
ラン生産日本一を誇る愛知県において、一年を通じてランなどの花をゆつくりと楽しめる施設です。名古屋都心のオアシス、「フラワーアレンジメント」「ガーデニング」のための情報発信基地として、名古屋の新しい都市魅力の創造を目指すものです。	指定管理料	109,840	0	109,840	5,634	3,507	100,699	109,840	47,994				
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	利用者1人あたりの運営費 (総支出額/年間利用者数)	円	1,135	994	1,009	733							
利用可能日数あたりの運営費 (総支出額/年間利用日数)	円	480,645	461,774	442,903	348,698	平成20年度に開館10周年無料開放を実施しました。							
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項				
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)							
	利用の促進	利用者層の拡大を図るため、若年層をターゲットとした魅力あるイベントを開催していきます。イベント限定の弾力的な料金設定等により、収支率の改善を目指します。	目標年次までに、平成19年度入館者数に対して、約5%の増加	入館者数	138,000人	131,000人				142,000人			

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 79 緑化センター

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)									
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入						
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金								
施設の現状	「緑の相談所」として、講習会や展示会を実施することにより、市民がみどりに対する理解を深めることで、家庭内の緑化を始め地域の緑化活動への協力・参加につなげることを目的としています。						指定管理料	230,133	0	230,133	使用料	110,224	0	119,909	230,133	—
	特記事項										指定管理区域を、鶴舞公園有料3施設も含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。					
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項									
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度										
	講習会受講者数	人	2,340	2,933	2,599	1,868	指定管理区域を、緑化センターも含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。 平成21年度 6,693千円 平成22年度 230,133千円									
	緑化相談者数	人	2,200	2,201	2,248	2,050										
入館者数	人	168,410	172,468	185,065	175,973											
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項					
					めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)								
	利用の促進	平成20年10月から導入される緑化地域制度にともない、「緑の相談所」の方面別の緑化相談窓口としての機能強化を図っていきます。 当館は、その『核』として、樹木の植栽知識をはじめ、緑化技術の情報提供・啓発普及を行なっており、近年注目されている屋上緑化・壁面緑化の最新情報の提供にも努め、市民への周知を図っていきます。			目標年次までに、平成19年度の講習会の受講者数と緑化相談者数に対して、10%の増加	講習会受講者数および緑化相談者数	5,000人	4,540人				3,918人				

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 80 庄内緑地グリーンプラザ

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)													
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入										
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金												
施設の現状	「緑の相談所」として、講習会や展示会を実施することにより、市民がみどりに対する理解を深めることで、家庭内の緑化を始め地域の緑化活動への協力・参加につなげることを目的としています。また、室内広場は、広大な園地と一体となった緑の中で市民が健康運動を行う拠点施設としての役割も担っています。						指定管理料	146,450	0	146,450	使用料	10,564	その他特定財源	227	一般財源	135,659	計	146,450	利用料金	—
	特記事項 指定管理区域を、平成22年度から庄内緑地全域に拡大したため、指定管理料が増額。																			
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項													
	指標		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度													
	講習会受講者数		人	7,834	8,353	8,276	5,681													
	緑化相談者数		人	981	805	822	803													
入館者数		人	390,200	399,115	429,254	429,046														
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み				取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		実績値(平成22年度)		特記事項								
						めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)	実績値(平成22年度)										
	利用の促進	平成20年10月から導入される緑化地域制度にともない、「緑の相談所」の方面別の緑化相談窓口としての機能強化を図っていきます。 当館の特色である多目的アリーナを活用して、緑あふれる環境の中で健康運動ができる場を提供するとともに、庄内緑地を活用した講座や生涯学習センター等と連携した講座を開催し、市民利用の促進を図っていきます。				目標年次までに、平成19年度の講習会の受講者数と緑化相談者数に対して、10%の増加		講習会受講者数および緑化相談者数	9,700人	8,815人	6,484人									

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 81 みどりが丘公園(墓地)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)							
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入			職員数
	管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計						
<p>名古屋市民を対象に墓地の貸付を行い、また、墓地の管理運営を行うための施設です。 みどりが丘公園は現在も建設途上の墓地であり、市直営により建設及び管理運営を行っています。具体的には、毎年度墓地の新規整備及び新規貸付を行っています。平成22年1月より遺骨の無い方(生前申込)も墓地の使用申込ができるようになり、幅広い需要に対応できるようになりました。</p>	205,033	0	205,033	81,532	0	123,501	205,033	11					
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況					特記事項							
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度						
	墓地貸付比率 (貸付済区画数/整備済区画数)	%	97.4	96.7	96.1		98.0						
収支率	%	34.9	35.0	35.0	39.7								
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標								
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)							
	利用の促進	新聞、車内広告の他、フリーペーパーやラジオ等、様々なメディアでの宣伝を企画するとともに、葬祭会館等での当事業のPRを積極的に展開していきます。	目標年次までに墓地貸付比率98%	墓地貸付比率	98.0%	97.4%							
	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標								
めざす状態			指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)								
経費の縮減	毎年度約1,000区画の新規貸付による管理料収入の増を図るとともに、運營業務の効率化に努め、経費の縮減を行います。	毎年度収支内容の改善に努め、収支率の向上	収支率	41.0%	34.9%								
改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)		特記事項										
	98.0%												
実績値(平成22年度)		39.7%											

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 82 名城公園フラワープラザ

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入					
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金							
施設の現状	「緑の相談所」として、都市の生活の中に、花を取り入れるための知識・技術の普及啓発を進めるために、花や緑の講習会や展示会を実施しています。市民が花やみどりに対する理解を深めることで、都市の緑化へも寄与することを目的としています。						指定管理料	56,880	1,166	58,046	422	749	56,875	58,046	—
	特記事項														
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項								
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度									
	講習会受講者数	人	2,627	2,595	2,629	2,780									
	緑化相談者数	人	1,203	1,170	1,125	999									
入館者数	人	301,574	345,882	353,601	349,371										
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項						
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)									
	利用の促進	平成20年10月から導入される緑化地域制度にともない、「緑の相談所」の方面別の緑化相談窓口としての機能強化を図っていきます。 当館の特色は、家庭の花づくりなど園芸知識や技術の情報提供・啓発普及を行っており、「なごや朝顔」など季節の花をテーマとした展示会や講習会を開催しています。また、勤労者も参加しやすいナイトカフェ講座を継続し、市民利用の促進を図っていきます。	目標年次までに、平成19年度の講習会受講者数と緑化相談者数に対して、10%の増加	講習会受講者数および緑化相談者数	4,200人	3,830人				3,779人					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 83 荒子川公園ガーデンプラザ

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
「緑の相談所」として、学校緑化、生垣などの各種見本園を備え、フィールドを活用した講習会や展示会を実施しています。生垣や公園樹、街路樹、庭園樹を管理し、直に見学することで緑化の普及啓発を図ることを目的としています。	指定管理料	116,289	555	116,844	454	356	116,034	116,844	—				
	特記事項	指定管理区域を、平成22年度から荒子川公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。											
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	講習会受講者数	人	1,275	1,044	1,069	947							
	緑化相談者数	人	371	409	508	394							
入館者数	人	237,294	217,858	251,173	220,180	指定管理区域を、平成22年度から荒子川公園全域に拡大したため、指定管理料が増額。 平成21年度 95,980千円 平成22年度 116,289千円							
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項		
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)							
	利用の促進	平成20年10月から導入される緑化地域制度にともない、「緑の相談所」の方面別の緑化相談窓口としての機能強化を図っていきます。 当館の特色であるラベンダー園を活用した講座や展示会を開催することで、市民利用の促進を図っていきます。また、鉄道駅や大型ショッピングセンターが隣接しており、これら事業者と連携したイベントを開催し、さらなる市民への周知も図っていきます。	目標年次までに、平成19年度の講習会の受講者数と緑化相談者数に対して、10%の増加	講習会受講者数および緑化相談者数	1,800人	1,646人							
								1,341人					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 84 東山総合公園(有料区域)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入				
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	職員数
施設の現状	動植物を通じて自然の営みを知り、自然環境への理解を深める社会学習の場、多くの人の安らぎの場として設置されました。 「人と自然をつなぐ場」として生命の大切さや生命の源である地球の大切さを伝え、持続可能な地球環境を次世代につなげる場になることを目指しています。  管理運営については、野生動物の飼育、希少植物の栽培、種の保存、環境教育などが根幹的な業務であり、直営での技術の伝承が必要です。一方サービス業務については、効率性や経済性の観点などから民間の活力、知恵を生かしていく方法について検討しています。					直営施設	1,251,496	38,829	1,290,325	402,147	10,036	878,142	1,290,325	106.6
	特記事項													
管理運営指標の状況	取組状況					特記事項								
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度							
入園者数	人	2,319,341	2,201,822	2,284,853	2,180,296	平成19年度は開園70周年事業により230万人となった。平成21年度はナイトズー等のイベントにより来園者増加。平成22年度はメダカ館などのリニューアルなどにより前年比増となった月もあるが、猛暑等により、年間4.6%の減少となりました。								
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項					
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)								
利用の促進	現在東山動植物園再生プランを推進しており、魅力ある施設への改修を進める一方、「生物多様性のための自然博物館連合」への加入、京都大学との連携など、動植物園としての質的な向上を図りました。また、広報・宣伝の強化、春・秋まつりを中心としたイベントの充実等により管理運営の改善を図り、入園者の増加に繋げていきます。	目標年次までに、入園者数2,500,000人	入園者数	250万人	232万人	2,180,296人								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 85 東山公園展望塔

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
名古屋市制100周年を記念して建てられ、展望塔として市民のレクリエーションの場、防災無線の中継基地としての利用を目的としています。	指定管理施設	86,835	22,708	109,543	52,584	8,483	48,476	109,543	—				
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
入館者数	人	289,767	298,801	305,628	299,008	平成19年度よりイベント充実や、のっぴーキャラクターPRなどにより来館者が増加傾向にあったが、平成22年度は、夏場の記録的な猛暑等により、7～9月で前年比22,000人程減少、年間前年比も2.2%の減少となりました。							
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標			第3次行政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項			
			めざす状態		指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)						
利用の促進	広報PRの強化と、定例ミニコンサート(天空ライブ)、七夕・クリスマスイベントを始めとするイベントの充実を図っていきます。	目標年次までに、入館者数300,000人	入館者数	300,000人	289,767人	299,008人							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 86 東山公園テニスセンター

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	支出			収入					
					2年	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金	
	国際的な大会が開催できるコート、花と緑に囲まれた公園としての雰囲気の中で、市民が気軽にテニスを楽しんでいただくのを目的とした施設です。 指定管理期間は、平成24年度より利用料金制度の導入を予定しているため、2年間としています。					指定管理施設	95,180	10,735	105,915	76,346	1,291	28,278	105,915	—
	<b>特記事項</b>													
	平成24年度より利用料金制度導入のため、平成23年6月17日より指定管理者の募集開始を行っています。													

管理運営指標の状況	取組状況						特記事項
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	利用率	%	63.6	65.1	65.1	64.6	
利用者満足度(アンケートで「満足」と回答した人の割合)	%	87.0	88.5	92.8	94.7		

改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)
	利用の促進		平日昼間の固定客確保のため、平成19年度に立ち上げたファンクラブ組織「東山テニスクラブ」の活動支援を行います。また、学校へのダイレクトメールの送付、大会誘致などのPR活動を積極的に行います。	平日(特に昼間)の利用率を改善させ、トータルでの利用率68%	利用率	68.0%
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
			めざす状態	指標	目標値(平成22年度)	基準値(平成19年度)
	経費の縮減		収入増加策として、ネーミングライツの導入を平成22年度に向けて進めます。	ネーミングライツによる収支の改善	収支率	70.0%
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標	
			めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度
	利用料金制度の導入		平成20年度 導入検討 平成21年度 導入準備 平成22年度 導入	利用料金制度の導入	平成22年度	達成

実績値(平成22年度)	特記事項
64.6%	
実績値(平成22年度)	
77.0%	
実績(平成22年度)	
現在は未達成であるが、平成24年度より利用料金制度を導入予定	

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 87 徳川園

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
徳川美術館、蓬左文庫と一体となって近世武家文化を国内外に発信する歴史文化拠点として整備された日本庭園です。 平成16年11月に開園しましたが、徳川美術館等との運営協力や地元への配慮などに留意する必要があります。平成21年11月で5年が経過し、運営も軌道に乗ってきていることから、平成22年度より指定管理者制度を導入しました。	指定管理料	115,612	479	116,091	46,048	9,232	60,811	116,091	—				
	特記事項												
平成22年度から指定管理者制度を導入													
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	入園者数	人	249,227	256,921	258,143	242,024							
利用者1人あたり運営費	円	656	631	676	477	平成22年度から指定管理者制度を導入							
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標						
	利用の促進	徳川美術館、蓬左文庫との連携を強化することにより、芸術文化性の高い催し等のイベントを共催します。(近世武家文化をテーマとしたイベントなど)また、徳川美術館等と共同広告、協調広告を実施します。			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)					
					徳川美術館、蓬左文庫と協力することにより、更に徳川園の賑わいの創出	入園者数	270,000人	250,000人					
	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標						
指定管理者制度の導入	平成21年度 選定 平成22年度 導入			めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度						
		指定管理者制度の導入			平成22年度	達成							
改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)		特記事項										
	242,024人												
	実績(平成22年度)		達成										

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 88 東谷山フルーツパーク

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)							
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入				
	果樹栽培の技術等の研究指導を行うとともに、市民に自然に恵まれたリクリエーション活動の場の提供を目的としています。						指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
							158,185	24,494	182,679	21,320	5,465	155,894	182,679	—
	特記事項													
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項							
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度								
	入園者数	人	568,804	570,675	560,584	512,211								
	世界の熱帯果樹温室入館者数	人	44,791	47,374	45,577	38,394								
利用者1人あたりの運営費	円	355.9	351.4	355.4	356.6									
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標							
					めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度						
	役割の再整理	平成19年度 3農業公園全体の見直し検討(役割の再整理) 役割:「果樹」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点 平成20年度 見直し検討を踏まえ具体的な計画の策定 平成21年度～平成22年度 「果樹」を中心とした農のある暮らしの推進のため施設の役割の再整理	農業センター・農業文化園との連携、「果樹」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点	平成22年度	達成									
改革改善の取組状況	実績(平成22年度)		特記事項											
			「果樹」を中心とした農のある暮らしの推進のために施設の役割の方向を再検討し、今後、「見せる施設」から「体験する施設」への転換を始め「農」に関するイベント・講座等の充実に努め、「農」のふれあいの場としての施設の利用促進を図ることとした。											

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 89 農業文化園

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)							
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募	指定期間	4年	支出			収入				
	都市農業に関する知識及び技術の普及啓発を行うとともに、市民に花とみどりに包まれたリクリエーション活動の場の提供を目的としています。						指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
							106,135	0	106,135	2,370	299	103,466	106,135	—
	特記事項													
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項							
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度								
	入園者数(戸田川緑地を含む)	人	691,262	938,998	1,057,523	995,286								
	「農業科学館展示室及びフラワーセンター」入館者数	人	28,671	40,906	39,907	34,915								
利用者1人あたりの運営費	円	373.1	269.1	240.5	192.2									
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標							
					めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度						
	役割の再整理	平成19年度 3農業公園全体の見直し検討(役割の再整理) 役割:「花と水稻」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点 平成20年度 見直し検討を踏まえ具体的な計画の策定 平成21年度～平成22年度 「花と水稻」を中心とした農のある暮らしの推進のため施設の役割の再整理			農業センター・東谷山フルーツパークとの連携、「花と水稻」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点	平成22年度	達成							
改革改善の取組状況	実績(平成22年度)	特記事項												
		「花と水稻」を中心とした農のある暮らしの推進のために施設の役割の方向性を再検討する中で、有料施設の無料化についても検討し、今後、既存施設を活用したイベント・講座等の充実に努め、「農」のふれあい場としての施設の利用促進を図ることとしました。												

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 90 農業センター

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)								
	管理運営形態	市直営による管理	募集方式	—	指定期間	—	支出			収入				職員数
	都市農業としての本市の農業の振興とともに、「農」とのふれあいの場、憩いの場の提供や市民の農業知識の普及向上を目的に設置された施設です。園内には放牧場や野菜のほ場等を配置し、畜産と野菜を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点として、各種体験教室、講習会の開催等を行っています。また、農業ボランティアの育成にも取り組んでいます。 当施設は、鳥インフルエンザなど家畜伝染病発生時における防疫対策、関係機関との連絡調整など法定業務を担う役割も負っていることから市直営で管理しています。						管理運営費	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
直営施設							97,407	0	97,407	12,682	17,286	67,439	97,407	17
特記事項														
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項							
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度								
	入園者数	人	612,259	630,033	620,193	573,718		「利用者一人当たりの運営費」は、正規職員人件費を除いて算出している。						
利用者一人当たり運営費	円	181.2	211.7	169.7	169.7									
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み			取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		実績(平成22年度)	特記事項				
					めざす状態	目標年度	到達段階	到達年度						
	役割の再整理	平成19年度 3農業公園全体の見直し検討(役割の再構築) 役割:「畜産と野菜」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点 平成20年度 見直し検討を踏まえ具体的な計画の策定 平成21年～平成22年度 「畜産と野菜」を中心とした農のある暮らしの推進のため施設の役割の再整理			東谷山フルーツパーク・農業文化園との連携、「畜産と野菜」を中心とした農とのふれあい・農のある暮らしを提案する拠点	平成22年度	達成				「野菜と畜産」を中心とした農のある暮らしの推進のため施設の役割の方向を再検討し、今後、イベントや各種講座・体験教室の充実、食農教育の推進に努め、「農」のふれあい場としての施設の利用促進を図る。			

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 91 久屋大通公園(オアシス21)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要					市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	非公募	指定期間	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金				
栄地区のシンボルゾーンとしての都市空間を形成する目的の下、平成14年度に栄バスターミナルや地下広場(銀河のひろば)、店舗と一体で、水の宇宙船(2,700㎡)を含む地上公園(14,500㎡)として整備されました。都心部の貴重な公園として市民に憩いの場を提供しています。 指定管理者の募集方式については、この施設が栄バスターミナル・公園・民間団体の所有する商業施設との複合施設であり、当該民間団体に一括管理させることが合理的であることから、公募によることなく指定管理者を指定しています。	指定管理施設	78,811	0	78,811	46,853	0	31,958	78,811	—			
	特記事項											
管理運営指標の状況	取組状況					特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度					
市民1人あたりの運営費	円	37.32	37.10	36.90	34.80	平成21年度は、水盤ガラス・通路のガラス床板のひび割れによる利用停止期間が影響したため、利用者数が減少しました。						
改革改善の取組目標	検討区分	改革改善の取組み	取組目標		第3次行財政改革計画期間内の取組目標		改革改善の取組状況	実績値(平成22年度)	特記事項			
			めざす状態	指標	目標値(平成21年度)	基準値(平成19年度)						
利用の促進	指定管理者制度を導入し、経費面及び利用促進面において、民間のノウハウを生かした運営がされていますが、今後さらに、利用の促進を図るため、水の宇宙船への利用者誘導について、「銀河のひろば」や「栄バスターミナル」との広報連携や誘導案内等を充実していきます。	水の宇宙船の利用者の一層の増加 目標年次までに、利用者数600,000人	水の宇宙船利用者数	600,000人	551,500人	576,100人						

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載

# 公の施設の現状(平成22年度)

## 92 道路附属物駐車場(池下、吹上中央帯、大曽根、吹上)

[緑政土木局]

施設の現状	施設概要						市の収支状況(千円) (平成22年度決算額)						
	管理運営形態	指定管理者による管理	募集方式	公募(一部非公募)	指定期間	4年	支出			収入			
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金					
路上駐車車両による交通機能の阻害を防止し、安全かつ円滑な道路の交通の確保を図るため、道路附属物として駐車場を設置しています。 (平成22年度より指定管理者制度導入)  池下地下2層:190台 吹上中央帯:172台 大曽根駐車場地下1層:146台 吹上地下2層:199台  池下地下駐車場については、隣接する駐車場を(株)パレが管理しており、一体的な管理をすることで経費削減が見込まれることから、非公募で(株)パレを指定管理者としています。	指定管理料	7,720	48,135	55,855	0	42,500	13,355	55,855	139,520				
	特記事項												
管理運営指標の状況	取組状況						特記事項						
	指標	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度							
	利用台数	吹上・吹上中央帯	台	100,659	101,153	97,770		89,043					
		池下	台	103,266	110,872	110,214		143,862					
大曽根		台	41,991	46,215	48,221	55,114							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載